

道府県	区分	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
		育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	平年に対する遅速等		
北海道	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) やや良 (農林水産省 8月28日付) <p>【生育状況 (8月15日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に推移している。(北海道農政部 8月19日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並である。(空知総合振興局 8月19日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並である。(石狩振興局 8月19日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。(後志総合振興局 8月19日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 8月19日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並である。(日高総合振興局 8月19日付)</p> <p>(渡島) 生育は概ね順調。茎数の多い一部ほ場で穂揃いに時間がかかった。(渡島総合振興局 8月19日付)</p> <p>(樺山) 生育は概ね平年並で推移。(樺山振興局 8月19日付)</p> <p>(上川) 生育は、平年並か平年よりもやや早く推移している。(上川総合振興局 8月19日付)</p> <p>(留萌) 生育は、平年並に進んでいる。(留萌振興局 8月19日付)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 8月19日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>北海道地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.1℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>主要品種に大きな変動はないものの、直播栽培に適した新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
青森	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) やや良 (農林水産省 8月28日付) <p>・ 8月10日現在の水稻出穂状況は、県全体で98%となっており、平年より1日早し8月10日であった。(青森県 8月12日付)</p> <p>(作況調査報告) (地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所 8月6日付)</p> <p>(黒石) 「つがるロマン」の出穂期は8月2日で平年より1日早かった。「青天の霹靂」の出穂期は8月3日で平年並だった。「まっしぐら」の出穂期は8月1日で平年並だった。(十和田) 「まっしぐら」の出穂期は8月4日だった。</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) やや良 (農林水産省 8月28日付) <p>・ 県全体の出穂期(盛期)は、8月6日(平年並+1日)となり、地帯別では北上川下流・東部は平年よりやや遅く(平年並+1日)、その地域は平年並となった。</p> <p>・ 刈り始めの目安となる日(出穂後、日平均気温の積算値が950℃に達する日)は、平年よりやや早まる事が予想される。(岩手県 8月27日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナル品種「鯉河のしずく」に転換を図ることとしている。</p>
宮城	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) 平年並 (農林水産省 8月28日付) <p>(亘理) 【管内の出穂状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出穂時期は8月14日、始期と終期で平年より7日、盛期は平年より8日遅くなった。(宮城県亘理農業改良普及センター 8月19日付) <p>(大崎) 【管内の出穂状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出穂期は管内全体・県全体ともに平年より4日遅くなった。管内全体の穂揃期は8月9日と平年より1日遅く、県全体は8月12日と平年より3日遅くなった。(大崎農業改良普及センター 8月25日付) 		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「新えみり」「たて正実」はやや増加傾向にある。</p>
秋田	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) やや良 (農林水産省 8月28日付) <p>(山本) 水稻定苗の穂揃い調査によると、穂数452本/m²(平年比102%)、一穂数77.7粒/穂(平年比103%)、m²あたり着粒数35,037粒/m²(平年比107%)となっている。出穂期以降日照時間が少ない(平年の半分程度)影響が懸念される。(8月24日付)</p> <p>(由利) 8月20日の調査では、穂数は460本/m²(平年比99%)と平年並み、一穂数73.8粒で平年より多く(同108%)、着粒数は33,876粒/m²(同108%)と平年より多くなっている。(8月21日付)</p> <p>(雄勝) 穂数・着粒数は平年よりも多い状況となっている。一部ほ場で倒伏が見られている。(8月21日付)</p> <p>(鹿角) 8月20日の水稻生育定苗調査では、m²当たり穂数は548本で多く(平年比116%)、一穂着粒数は85.3粒と少なく(平年比96%)、m²当たり粒数は35,862粒で多い(平年比112%)。(8月28日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「ゆめおぼこ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
山形	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) やや良 (農林水産省 8月28日付) <p>・ 県全体の出穂盛期は8月6日頃で、平年並みとなった。(山形県 8月25日付)</p> <p>(鶴岡田川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管内全体の出穂盛期は、平年並みの8月4日頃となった。 ・ 生育診断書では、「はえぬき」「雪若丸」で8月4日、「つや姫」で8月9日と平年並。 ・ 「はえぬき」の生育診断書では、穂数が平年より少なかったものの、1穂数が多かったため、総穂数は概ね平年並となった。 ・ 出穂後平均気温が高く推移したため、「はえぬき」は刈り取り期が早まる見込み。 また、直播等の「はえぬき」でも、8月9日以前に出穂を迎えた圃場では、刈り取り期が早まる見込み。(庄内総合支庁農業技術普及課 8月25日付) <p>(最上) 【生育診断書の穂揃期調査結果(総穂数平年比)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平畑「はえぬき」(新庄市) 107 ・ 平畑「雪若丸」(新庄市) 104 ・ 平畑「つや姫」(舟形町) 108 <p>(最上総合支庁農業技術普及課 8月26日付)</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育・作柄)	<p>【早場地帯の作柄概況 (8月15日現在)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (作柄の良否) 平年並 (農林水産省 8月28日付) <p>【7月末現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼穂形成始期は、農業総合センター本部(郡山市)で3～5日の遅れ。 ・ 会津地域研究所(会津坂下町)、浜地域研究所(相馬市)では平年並となっている。(福島県 8月6日付) 		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北地方は、9月2日頃からかなりの高温(+2.4℃以上)。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつば」が増加傾向となっている。</p>

生育状況等			
茨城	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>
栃木	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。 なお、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>
千葉	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。</p>
新潟	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p> <p>「コシヒカリ」・出穂期は、平年並の8月5日。指標値（生育のめやす）に比べ、出穂期の葉色は「並～やや濃い」、稈長は「並～長い」状況で、地域差やほ場間差が大きくなっている。 「新之助」・出穂期は、平年より2日遅い8月12日。指標値に比べ、出穂期の葉色は「並～濃い」、稈長は「並」の状況。 【今後の生育見込み】・登熟期間が高温の見通しであることから登熟が進み、収穫適期は早まる見込み。（新潟県農林水産部 8月21日付）</p> <p>（岩船）本年の出穂期は、平年に比べ早生は2日早まり、コシヒカリは7月の低温、日照不足の影響で1日程度遅くなった。早生の出穂期以降は不安定な天候が続いており、今後は高温が予想されていることから、各品種とも白米熟粒や胴割粒の発生が懸念される。 （村上農業改良普及センター 8月21日付）</p> <p>（佐渡）出穂後の気温は平年よりも高く推移し、今後も猛暑が予想されるなど、気温が高い予報となっている。このため、収穫適期が早まること併せ、刈り遅れによる胴割粒や基部未熟粒の発生が多くなると予想される。（佐渡農業普及指導センター 8月25日付）</p>	<p>・9月3日頃にかけて、フェーンによる異常高温と乾燥が発生する恐れがある。（新潟県 8月27日付）</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.5℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁新潟地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「こしいふき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。</p>
富山	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.5℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温豊熟でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p>
石川	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.5℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
福井	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>【8月24日水稲登熟状況】</p> <p>（生育・作柄）</p> <p>・収穫適期を過ぎたハナエチゼンで胴割粒の発生が見られる。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月25日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 北陸地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.5℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。</p>
長野	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育・作柄）</p> <p>・現地の平地では、早生品種（あきたこまち、美山錦等）は登熟後期で、色づきが始まっており、8月末～9月初旬に収穫時期を迎えると思われる。 ・コシヒカリは現在登熟初～中期で、9月上旬から収穫時期を迎えると思われる。 ・また、異常高温に起因すると思われる、止葉の褐変や枯れ症状が見られる圃場もある。 （松本農業農村支援センター 8月23日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 （気象庁）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。（気象庁東京管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>

		生育状況等	
滋賀	<p>【早場地帯の作柄概況（8月15日現在）】 ・（作柄の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>【農業技術振興センター水稲作況調査（8月19日時点）】</p> <p>（生育・作柄） ・8月中旬から高温多湿の日が続く、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」とも登熟は順調に進んでいる。「みずかがみ」の成熟期は、出穂が遅れたことから、平年よりやや遅れる見込み。 ・県内ほ場の5月上旬移植「みずかがみ」では、8月24日頃に成熟期を迎える見込み。 (滋賀県農業技術振興センター 8月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多湿性に優れた「みずかがみ」を増加する計画である。</p>
兵庫	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 近畿地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.1℃以上）。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付推進を図っている。</p>
岡山	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育） ・梅雨明け（7月30日）以降、異常な高温と少雨が続いている。水稲の生育は、早生品種は既に登熟期となっており、中生品種の「きぬむすめ」は出穂が始まっている。</p> <p>【これまでの生育状況（水稲）】 ・早生品種は、7月下旬～8月上旬に出穂し、穂数は平年並～やや少ない見込み。 ・中生品種は、出穂期～幼穂形成期で、茎数は平年並～やや少ない。 ・晩生品種は、幼穂形成期で、茎数は概ね平年並となっている。 (岡山県農林水産総合センターほか 8月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.2℃以上）。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 中国地方は、9月2日頃からかなりの高温（+2.2℃以上）。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<p>「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育） 【愛媛県農林水産研究所における水稲の生育観測結果 8月1日現在】 （普通期） ・「ヒノヒカリ」「にこまる」の茎数は平年より少なく、葉色は濃かった。 ・「ひめの凜」は昨年より草丈が高く、茎数が多かった。 ・「あきたこまち」「ヒノヒカリ」の幼穂形成始期は平年より3日早かった。 (愛媛県農林水産部農林水産研究所 8月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は、9月2日頃からかなりの高温（+1.8℃以上）。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
高知	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）（普通栽培）】 ・（生育の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 四国地方は、9月2日頃からかなりの高温（+1.8℃以上）。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<p>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。</p> <p>・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。</p>
福岡	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）やや不良（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育） 【早生水稲（夢つくし、コシヒカリ）】 ・4月中下旬の「夢つくし」「コシヒカリ」の収穫は、8月16日頃から開始した。7月の低温、日照不足の影響で、収穫は平年並み～3日程度遅れているが、8月末までに終了する見込み。 ・穂数は平年並み～やや少なく、7月の日照不足の影響で登熟がやや遅り、収量は平年並み～やや少くなる見込み。</p> <p>【普通期水稲（夢つくし、元氣つくし、ヒノヒカリなど）】 ・出穂期は、6月10日種「夢つくし」が8月12日、6月中旬種「元氣つくし」が8月17～20日、平年並み～2日程度遅い。 ・葉いもちの発生は平年より少ないが、セジロウカ、トビロウカ、コブノメイガは平年より多く、特にトビロウカは、過去10年間で最も発生が多く、8月7日付けで警報が発令されている。高温の影響で、紋枯病、カメシムも増加の恐れがある。 ・「夢つくし」の収穫は、平年並みの9月中旬が最盛期になる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 8月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州北部地方は、8月23日頃からかなりの高温（+1.8℃以上）。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元氣つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向。「夢つくし」「元氣つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「美りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊本	<p>【選場地帯の生育状況（8月15日現在）】 ・（生育の良否）平年並（農林水産省 8月28日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州北部地方は、8月23日頃からかなりの高温（+1.8℃以上）。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>

生育状況等			
宮崎	<p>【西南暖地の早期栽培等の作柄概況（8月15日現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作況指数 98 ・ 予想収穫量 28,800トン <p>（生育・作柄）</p> <p>【運場地帯の生育状況（8月15日現在）】（普通栽培）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （生育の良否） 平年並 （農林水産省 8月28日付） <p>・ 作物の生育状況（8月上・中旬） 普通期水稲は幼穂伸長期～穂ばらみ期。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月24日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>九州南部地方は、8月23日頃からかなりの高温（+1.2℃以上）。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、平年並か多い見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島	<p>【西南暖地の早期栽培等の作柄概況（8月15日現在）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作況指数 97 ・ 予想収穫量 19,100トン <p>（生育・作柄）</p> <p>【運場地帯の生育状況（8月15日現在）】（普通栽培）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （生育の良否） 平年並 （農林水産省 8月28日付） 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月29日～9月28日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>九州南部地方は、8月23日頃からかなりの高温（+1.2℃以上）。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 9月～11月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、平年並か多い見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p>	<p>「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向にある。</p>

注1：国及び地方自治体、地方自治体の出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年8月28日16時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 8月15日現在(北海道 8月19日)、
農作物生育状況 8月15日現在(北海道空知総合振興局 8月19日)、
農作物生育状況 8月15日現在(北海道石狩振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道後志総合振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道胆振総合振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道日高振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道渡島総合振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道檜山振興局 8月19日)、
農作物の生育状況 8月15日現在(北海道上川総合振興局 8月19日)、
農作物生育状況調査の概要 8月15日現在(北海道留萌振興局 8月19日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月19日)、
8月10日現在水稲出穂状況(青森県 8月12日)、
作況調査報告(生育ステージ)(青森県産業技術センター農林総合研究所 8月6日)、
農作物技術情報 第6号 水稲(岩手県 8月27日)、
令和2年産大崎稲作情報第5号(宮城県大崎農業改良普及センター 8月25日)、
令和2年稲作情報第7号(宮城県亶理農業改良普及センター 8月19日)
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 8月24日)、
当面の技術対策(9月)(山形県 8月25日)、
稲作だより第11号(最上総合支庁農業技術普及課 8月26日)、
おいしい米づくり情報第12号(庄内総合支庁 8月25日)、
主要な農作物の生育情報令和2年度第5号(福島県農林水産部 8月6日)、
令和2年度稲作生育速報No.8(佐渡農業普及指導センター 8月25日)、
R2岩船米米づくり情報No.8(村上農業普及指導センター 8月21日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第9号)(新潟県 8月21日)、
フェーン緊急情報第3号(新潟県 8月27日)、
稲作情報No.17(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月25日)、
令和2年作物技術普及情報第11号(松本農業農村支援センター 8月23日)、
令和2年度水稲生育診断情報No.5(滋賀県農業技術振興センター 8月21日)、
水稲及び黒大豆の高温・少雨に対する技術対策について(緊急情報No.2)(岡山県農林水産総合センターほか 8月20日)、
2020年産水稲の生育状況(愛媛県農林水産部農林水産研究所 8月15日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(福岡県 8月20日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第4号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 8月24日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日気象庁)、
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日広島地方気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(8月27日鹿児島地方気象台)、

北海道地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日札幌管区気象台)、東北地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日気象庁)、
北陸地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日新潟地方気象台)、近畿地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日大阪管区気象台)、中国地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日広島地方気象台)、
四国地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日高松地方気象台)、九州北部地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方方向こう3か月の天候の見通し(8月25日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(8月27日14時30分)(仙台管区気象台、気象庁、大阪管区気象台、広島地方気象台、高松地方気象台、福岡管区気象台、鹿児島地方気象台)、

令和2年産水稲の8月15日現在における作柄概況(農林水産省 8月28日)
令和2年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)